

『がんゲノム医療』のご紹介

岡山赤十字病院
がんゲノム医療運営チーム
胆膵内科
原田 亮

2019年6月よりがん遺伝子パネル検査が保険適応となり、長年がん治療における標準治療といわれていた手術療法・放射線療法・薬物療法に加えて、がんゲノム医療が始まりました。がん遺伝子パネル検査とは下記図1のようにがんの組織を使って多数の遺伝子を同時に調べる検査のことを指し、検出された遺伝子変異に効果が期待できる薬があれば使用を検討することができるというものです。

これらの検査はがんゲノム医療中核拠点病院・拠点病院・連携病院に指定されないと行うことができず、当院は2021年4月よりがんゲノム医療連携病院となり2022年より本格的にがん遺伝子パネル検査を開始しております。

保険適応は下記となっており、当院では院内で治療中の方に限定させて頂いております。対象は進行した固形がんすべてとなっておりますので、診療の中でがん患者様がおられましたら是非当院へご紹介ください。

- ① 標準治療がない固形がん
- ② 局所進行もしくは転移があり、標準治療が終了した（終了見込みを含む）固形がん

岡山県	岡山大学病院	がんゲノム医療中核拠点病院
	倉敷中央病院	がんゲノム医療連携病院
	川崎医科大学附属病院	がんゲノム医療連携病院
	岡山医療センター	がんゲノム医療連携病院
	岡山赤十字病院	がんゲノム医療連携病院

